学校番号	412

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	５単位	年次	３年次
使用教科書	世界史探究「詳説世界史」（山川出版社出版）						
副教材等	ニューステージ世界史詳覧　（浜島書店出版） 時代と流れで覚える！世界史用語（文英堂出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次には「歴史総合」において、世界史・日本史分野を両方学んだが、探究では世界史分野を集中的により深く学ぶ。より詳細な内容となり、一週間の進度も速いため、日々の丁寧な学習が必要となる。
先史・古代史から順番に学習し、歴史総合で習った近現代史へとつなげ、歴史の大きな枠組みを概観できるように努めてほしい。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を育成する。
【知識及び技能】
世界の歴史について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら、様々な資料や情報をもとに調べまとめる。
【思考力、判断力、表現力等】
世界の歴史の大きな枠組みを、多角的・多面的に考察し、現代社会の諸問題解決に向けて考察・構想する。
【学びに向かう力、人間性等】
広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての自覚を持つ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第Ⅰ部	第1章 文明の成立と古代文明の特質 1　文明の誕生 2　古代オリエント文明とその周辺 3　南アジアの古代文明 4　中国の古代文明 5　南北アメリカ文明	a: 各諸地域で起こった文明に関して、それぞれの地域の環境に適応した文化・文明が発展したことを理解している。 b: 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、資料等も基にして諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 c: 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	提出課題 発問評価	授業態度
		第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 1 中央ユーラシア――草原とオアシスの世界 2 秦・漢帝国 3 中国の動乱と変容 4 東アジア文化圏の形成	a: 中央ユーラシアの遊牧民やオアシス民の生活のありさまや、彼らの周辺の諸勢力との関係を理解している。 秦～唐までの社会や制度、支配体制について、時期ごとの変化や周辺諸国との関係を踏まえて理解している。 b:図像資料をもとに、各時代の社会の特徴や近隣諸国への影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c:中央ユーラシア・東アジアの文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	提出課題 発問評価	授業態度

1	第Ⅰ部	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 1 仏教の成立と南アジアの統一国家 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3 東南アジア世界の形成と展開	a:南アジアで生まれた様々な宗教や文化がどのように発展したのかを理解する。 b:南アジア・東南アジアの発展を資料をもとに多角的・多面的・多角的に考察し表現している。 c: 南アジア・東南アジアについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	提出課題 発問評価	授業態度
		第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 1 イラン諸国家の興亡とイラン文明 2 ギリシア人の都市国家 3 ローマと地中海支配 4 キリスト教の成立と発展	a:イラン諸国がどのように興亡したかを理解している。アテネ・ローマの文化の特徴を理解している。 b: イラン文明・古代ギリシア・古代ローマの社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 c:イラン文明・古代ギリシア・古代ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	提出課題 発問評価	授業態度
	第Ⅱ部	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2 ヨーロッパ世界の形成 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 1 イスラーム教の諸地域への伝播 2 西アジアの動向	a:イスラーム社会と文化がどのように形成されていったかを理解している。 b:図像資料をもとに、イスラーム社会とヨーロッパ社会の関係性を多角的・多面的に考察し表現している。 c:イスラーム社会の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	提出課題 発問評価	授業態度

	第Ⅱ部	第 7 章 ヨーロッパ世界の変容と展開 1 西ヨーロッパの封建社会とその展開 2 東ヨーロッパ世界の展開 3 西ヨーロッパ世界の変容 4 西ヨーロッパの中世文化	a:中世の東西ヨーロッパの発展と衰退の過程を理解している。 b: 資料をもとに、ヨーロッパ各国の動きの共通点と相違点を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 東西ヨーロッパ世界の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	提出課題 発問評価	授業態度
		第 8 章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 1 アジア諸地域の自立化と宋 2 モンゴルの大帝国 第 9 章 大交易・大交流の時代 1 アジア交易世界の興隆 2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 第 10 章 アジアの諸帝国の繁栄 1 オスマン帝国とサファヴィー朝 2 ムガル帝国の興隆 3 清代の中国と隣接諸地域	a: 10～12 世紀の東アジアの情勢について、東アジア内の交流と再編を中心に理解している。ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 b: 資料をもとに、モンゴル帝国の拡大やヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c: モンゴル帝国の拡大やヨーロッパの海洋進出について自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	提出課題 発問評価	授業態度
		第 11 章 近世ヨーロッパ世界の動向 1 ルネサンス 2 宗教改革 3 主権国家体制の成立 4 オランダ・イギリス・フランスの台頭 5 北欧・東欧の動向 6 科学革命と啓蒙思想	a:近世ヨーロッパの発展や各諸国の関係の推移について理解している。 b:資料をもとに近世ヨーロッパの覇権争いについて多面的・多角的に考察し表現している。 c: 近世ヨーロッパについて自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	提出課題 発問評価	授業態度

2	第Ⅲ部	第 12 章 産業革命と環大西洋革命 1 産業革命 2 アメリカ合衆国の独立と発展 3 フランス革命とナポレオンの支配 4 中南米諸国の独立 第 13 章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 1 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3 アメリカ合衆国の発展 4 19 世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	a:18～19 世紀の欧米諸国で起こった革命の展開と各国の関係の変遷、アメリカ合衆国建国の歴史的経緯などを理解している。 b:当時の資料や風刺画などをもとに、当時の社会の変遷に関して多面的・多角的に考察し表現している。 c:18～19 世紀に起こった出来事について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	提出課題 発問評価	授業態度
		第 14 章 アジア諸地域の動揺 1 西アジア地域の変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動 第 15 章 帝国主義とアジアの民族運動 1 第 2 次産業革命と帝国主義 2 列強の世界分割と列強体制の二分化 3 アジア諸国の変革と民族運動	a：ヨーロッパの植民地支配の展開や、各地域の民族紛争に関して理解している。 ｂ：地図や資料をもとに、各国の帝国主義政策や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。 ｃ:植民地政策や民族運動に関して、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	提出課題 発問評価	授業態度

2	第Ⅲ部	第 16 章 第一次世界大戦と世界の変容 1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動 第 17 章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2 第二次世界大戦 3 新しい国際秩序の形成	a：二つの大戦の経緯や特徴を把握し、それによって形成された国際関係・国際秩序の変化を理解している。 b：写真やポスターなどの図像資料をもとに、二つの大戦がもたらした社会的変化を多面的・多角的に考察し表現している。 c：二つの大戦に関して、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	提出課題 発問評価	授業態度
	第Ⅳ部	第 18 章 冷戦と第三世界の台頭 1 冷戦の展開 2 第三世界の台頭とキューバ危機 3 冷戦体制の動揺 第 19 章 冷戦の終結と今日の世界 1 産業構造の変容 2 冷戦の終結 3 今日の世界 4 現代文明の諸相	a：冷戦下の世界各地の情勢や経済構造の変化などを理解している。 b：各地の様子を写した図像資料や統計資料を基に、冷戦化の社会を多面的・多角的に考察し表現している。 c：冷戦下の社会情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	提出課題 発問評価	授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度